

令和 6 年 9 月

定 例 教 育 委 員 会

新 庄 市 教 育 委 員 会

■ 令和6年市議会9月定例会における教育関係一般質問の概要について

山科正仁議員	<p>【質問1】 ICT教育の進展について、タブレットの活用状況やオンライン授業の実施などの具体的な取り組みの進捗と成果について伺う。</p> <p>【答弁】 タブレットの活用状況についてですが、授業の中で、発達段階や授業の内容に応じて、情報の共有や小テスト、振り返りなどが、タブレットを活用することで効果的な学びに繋がり、自身の学習がどのように蓄積されてきたのかを確認していくことができると期待しております。また、教科書についている二次元コードをタブレットで読み込み、資料や動画を活用したり、課題解決学習において、情報の検索や精選にタブレットを活用することで、深い学びへと繋げております。他にも、委員会活動などの特別活動においても、資料の作成やお知らせの配付はタブレットを活用しております。</p> <p>オンライン授業については、一部の学校において、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症などで出席できないときに、タブレットを活用し、学校の授業を配信によって自宅で受けることができるようにしております。</p> <p>今後も、ICT機器の活用について研究を進めながら、教育活動の充実に繋げて参ります。</p>
	<p>【質問2】 ICT教育に馴染めずに学習に遅れをとる子供へのフォロー体制はどのようにしているのか伺う。</p> <p>【答弁】 ICT教育に馴染めない児童生徒はあまりいないのが現状ですが、タブレットの操作に苦手意識がある児童生徒に対しては、ペア学習やグループ学習の中でお互いに見合ったり、教え合ったりしながら、操作の確認ができるようにしております。また、それでも操作がうまくできない場合については、個別学習指導員やICT支援員によるサポートや、チームティーチングを行うなどして、個別に支援できる体制をつくり、フォローしながら、一人ひとりの学習が充実するように取り組んでおります。</p>
	<p>【質問3】 特別支援教育に関する市の方針や具体的な取り組みを伺う。</p> <p>【答弁】 本市では、特別支援教育の充実を、学校教育の重点の一つであると捉えております。全ての子どもが生活しやすく、学習しやすい環境の整備と、配慮が必要な子どもへの個別の支援を両輪で進めております。また、障がいのあるなしに関わらず、全ての子どもがともに学び、お互いの違いを認め合うインクルーシブ教育にも力を入れて取り組んでおります。</p> <p>具体的な取り組みとしては、「特別支援教育センター」を設置し、特別支援指導員による学校支援や幼稚園、保育所等への訪問、関係機関との連携や個別検査の実施、保護者との面談等を行っております。また、特別支援教育専門委員による市内小学校、義務教育学校と幼稚園、保育所等への巡回相談を通して、児童の発達や障がいに対する理解を深め、適切な支援へとつなげております。</p> <p>児童生徒数が減少している一方で、配慮を要する児童生徒の数は増えている傾向にありますが、適正な環境の整備と支援により、個々の力を伸ばし充実した学校生活を送っている児童生徒が多くおります。今後も関係機関の協力を得ながら、特別支援教育の充実を学校教育の重点として取り組んでまいります。</p>
	<p>【質問4】 教師の長時間労働改善に向けた働き方改革への取り組みはどのようにしているのかを伺う。</p> <p>【答弁】 本市における教員の令和5年度の時間外勤務は、小学校で月平均30.13時間、中学校では37.46時間と、ここ数年で最も少ない時間数となっており、</p>

	<p>県が目標としている 45 時間を下回る結果となっております。</p> <p>これにつきましては、教員の時間外勤務削減への意識の向上、学校業務の見直しや個別学習指導員や部活動指導員の配置など、外部人材の活用をしながら取り組んできた成果と考えております。</p> <p>今後は、さらに業務の見直し、ICTの有効活用、部活動の地域移行にむけた取り組みを進め、保護者や地域の理解を得ながら、教員の長時間労働改善に向けて取り組んでまいります。</p>
渡部正七議員	<p><b>【質問】</b> スポーツも時代とともに進化が求められるが、従来の「体育」の概念から「楽しむスポーツ」、さらには「遊びの要素を取り入れたアクティビティ」をスポーツと捉えるものとして、アーバンスポーツは若者のスポーツ離れが危惧される中、若者や子供を中心に広がりを見せております。特色あるアーバンスポーツへの取り組みにより、競技者や観戦者の「する」「みる」のツーリズム需要を高め、地域の活性化、魅力ある街づくりを推進することも重要と考えます。アーバンスポーツに対する理解を深める活動や普及推進、体験できる場所・施設等の整備について見解をお伺いします。</p> <p><b>【答弁】</b> BMXフリースタイルやスケートボードといったアーバンスポーツはオリンピックにおいて正式種目となったこともあり、今注目されている新しいスポーツの分野と言われております。また、遊びから派生したスポーツ、運動であることから、「楽しさ」を基本としており若者のスポーツ離れに一石を投じるものと期待もされております。アーバンスポーツは総じて競技人口がまだ少ないこともあることから、その楽しさや魅力を広めていくため、実際に見て、体験できる機会づくりからスタートすることが重要と考えております。</p> <p>このような新しい分野のスポーツ文化は関係人口の増加や若者の定着に資するものと捉えておりますので、まずは、アーバンスポーツツーリズムへの情報収集に努めてまいります。</p>
小嶋富彌議員	<p><b>【質問 1】</b> 2024年度の全国学力・学習状況調査の結果公表を受けた本市における各教科の正答率、又、生活習慣などを尋ねたアンケート調査結果、分析をお聞きいたします。</p> <p><b>【答弁】</b> 全国学力・学習状況調査における本市の結果と分析についてであります。今年度の結果は、小学6年生の国語、算数、中学3年生の国語、数学ともに全国平均を下回る結果となりました。全体として、習得した知識や技能を活用することや、適切に表現することがやや弱い傾向にあると捉えております。</p> <p>学習状況調査の中で特徴的だったことは、小中ともに、ゲームやSNS、動画視聴に時間を使う割合が、全国と比較して高いということです。また、家庭学習につきましては、全国と比較して長時間取り組む割合が低く、1時間以下の割合が高くなりました。また、学習におけるICT機器の活用が、小学校では全国に比べて少ないという結果になっています。</p> <p>全国学力学習状況調査は、教育環境や授業の在り方を評価し、見直すことを目的としております。改めて学習指導要領で求められている資質・能力を育てる学習活動が行われているかを教師自身が評価しながら、全教職員で学力向上に向けて取り組むよう指導してまいります。また、効果的な家庭学習やICTの活用につきましても、研究を続けてまいります。</p>

	<p>【質問 2】 児童、生徒に配備された学習用端末の利用を巡り、子供の個人情報 が、民間事業者に直接管理されている事が一部の自治体で判明し文科省が全国 調査に乗り出したとあるが、当市の実態をお伺いいたします。</p> <p>【答弁】 学習用端末で収集される児童生徒の個人情報の取扱いについて、文部科 学省の見解に対し、一部の自治体が異なった対応をしていた問題で、全国の自 治体を対象に実態調査が行われました。この全国実態調査では、学習支援ソフ トを通じた個人情報の取得・管理について、教育委員会や学校、民間事業者の いずれが行うのか、あわせて、取得した個人情報の利用目的を特定している か、などが調査されました。</p> <p>本市におきましては、市が主体となって児童生徒の個人情報の取得・管理を 適正に行っており、民間事業者が個人情報を直接取得している事実はないこと を確認したところであります。</p> <p>児童生徒の個人情報につきましては、引き続き、学習用端末の運用を含め、 適正な管理に努めてまいります。</p>
	<p>【質問 3】 学校の健康診断について、近年学校検診を巡って、脱衣の疑問の声 が高まり文科省が1月に、全国の教育委員会に「児童生徒のプライバシーや心情 に配慮した検診環境の整備」を求める通知を出したとあるが、市におけるこれ らについての見解をお伺いいたします。</p> <p>【答弁】 各学校においては、これまでもプライバシーに配慮しながら健康診断を 実施してまいりました。脱衣に関しましては、検診を待つ間は、体操着の状態 でおり、検診する部屋に入室した後は、パーテーションやカーテンを用い て、他の児童生徒に見えない工夫を行っております。脱衣の必要性につしまし ては、児童生徒の心情に配慮しながら、医師の医学的見知を基に、医師と校長 と相談の上で判断しております。</p> <p>健康診断は、学校教育を行う上で、児童生徒の健康状態を把握し、必要な措 置を講じるなど重要な役割を果たしていることから、学校医の医学的見知と児 童生徒の心情への配慮を併せて判断していかなければならないと考えます。</p> <p>今後も医師と学校が連携し、保護者の理解を得ながら、適切な健康診断が実 施されるよう取り組んでまいります。</p>
山 科 春 美 議 員	<p>【質問 1】 日本に家族ごと移住して来られる外国人の家族も増える中、文部科学 省の調査では、公立小中高校などで日本語指導を必要とする児童生徒が7万人 近くいると新聞報道でもありました。当市の現状や今後の対応についてお伺い します。</p> <p>【答弁】 これまで外国から移住された児童生徒につきましては、それぞれの日本 語の能力に合わせ、必要な支援を行ってまいりました。</p> <p>本市においても、児童生徒に対し、日本語を話したり聞き取ったりすることに 支援が必要なケースがあり、学校では、担任や個別学習指導員が、横について 丁寧支援し、日本語の理解が着実に進むよう対応しております。</p> <p>今後も、発達段階に応じた必要な支援を行っていくために、該当する児童 生徒について、学校から情報を収集し状況を把握した上で、個別学習指導員の 配置や、教育相談員の訪問指導等の対応を考えてまいります。また、これまで 母国語でのサポートが必要な場合は、その言葉を話せる方を臨時語学支援員と して学校に配置してまいりました。今後も必要に応じ同様の対応をしていき たいと考えております。</p>

	<p><b>【質問 2】</b> 文化会館での大ホールでのイベントの際、「収容人数が1000名であるにもかかわらず駐車場が足りなく困っている」といった市民の声を多く聞きます。駐車場不足の解消に向けた今後の市の対応についてお伺いします。</p> <p><b>【答弁】</b> 市民文化会館の敷地内には、障がい者用駐車スペース4台分のほか、174台分の駐車場を確保しておりますが、大規模なイベントが開催される場合は、隣地の公園用地を借りて駐車場不足を補ってまいりました。</p> <p>現在は、当該公園用地が新たな保育所の建設用地となっており、駐車場としての活用ができないため、検診センターや市民プラザなど近隣の公共施設を案内しているほか、必要に応じて、市役所や駅東口の駐車場なども紹介し対応しております。</p> <p>今後も、近隣施設の駐車場の借用や市有地の活用などを含め、関係機関と調整しながら、駐車場確保に向けて検討してまいります。</p>
<p>坂本健太郎議員</p>	<p><b>【質問 1】</b> 教育機会確保法における不登校の子どもに対する教育機会の確保にかかる事項において、「教育の確保」に関する当市の考え方と施策について</p> <p><b>【答弁】</b> 本市では、教育相談室の中に、適応指導教室を置き、教育機会の確保を行っておりますが、ここに通える児童生徒は、不登校傾向及び不登校の児童生徒の一部に止まっており、教育機会の確保としてはまだ足りていないと認識しております。</p> <p>不登校の子どもに対する教育の機会や、安心して通える居場所を確保するには、フリースクールや学びの多様化学校なども必要と言われており、この実現に向けては、周辺自治体や民間との連携も必要になってくると考えられます。</p> <p>今後、ニーズを調査し、先進事例や民間等との連携について、研究を進めてまいります。</p>
	<p><b>【質問 2】</b> 若者の引きこもり、社会適応に対する支援について</p> <p><b>【答弁】</b> 本市では、子どもや若者が抱える多岐にわたる困難に対し、一人一人の状況に応じて、効果的で円滑な支援を図るため、各関係機関と連携した支援を行っております。特に効果的な支援には「気づく」「聴く」「つなぐ」といったきめの細かい切れ目のない対応が重要と認識しております。</p> <p>若者に関する支援につきましては、最上広域青少年指導センターにおいて、青少年の自立支援のほか、就労や高校再チャレンジを考えている青少年や、社会参加に不安を持つ若者を対象とした相談活動を行っております。</p> <p>今後とも、県や子ども・福祉関係課、高等学校、フリースペースまちかどカフェ「たまりば」「生活自立支援センターもがみ」など、関係機関と連携した支援を行ってまいります。</p>
<p>亀井博人議員</p>	<p><b>【質問】</b> 築年数が30年以上経過しているスポーツ施設について、計画的な修繕を実施し、良質な施設で使い勝手をより向上させる事が必要だと思います。今後どのような計画で進めて行く予定か伺います。</p> <p>①トイレの洋式化について。</p> <p>②雨漏りなどの不具合への対応について。</p> <p><b>【答弁】</b> 本市のスポーツ施設については、昭和46年に建てられた体育館を始め、ほとんどの施設が、築30年以上経過しており、その間、体育館や陸上競技場のトラックの改修は行ってきておりますが、今後の施設の更新や修繕については、「新庄市公共施設 最適化・長寿命化計画」に基づき実施していくこととしております。</p> <p>社会生活の変化や経年劣化への対応など課題は多く、昭和54年建築の武道館にあつては、トイレの洋式化も進んでいないことから、早期の改修に向け取り</p>

	<p>組みを進めてまいります。また、雨漏りといった不具合がある野球場、陸上競技場の管理棟については、環境改善が図られる修繕計画を策定した後、改修工事を計画的に行ってまいります。</p> <p>本市が有するスポーツ施設は、市民の利用はもとより、各種大会の会場となることが多々あることから、利用者や指定管理者からの意見、要望を踏まえ、快適に施設を使用できるよう管理を行ってまいります。</p>
<p>辺見孝太議員</p>	<p><b>【質問】</b> 若連代表や有識者による選考によって20台の山車の中から優秀山車が決定し、新庄ふるさと歴史センターに展示されておりますが、山車の総数に対して表彰される山車が少なく、新庄まつりの担い手である山車若連のモチベーションの低下が懸念されます。さまざまな角度から山車を評価し、展示される山車以外の優れた山車を表彰する考えはないかお伺いします。</p> <p><b>【答弁】</b> 新庄ふるさと歴史センターでは、新庄まつりに参加した各町内の山車の中から、歌舞伎部門・物語部門でそれぞれ選考会により選出した山車を1年間展示しております。また、最上広域交流センターゆめりあでは、各若連の代表者によって選ばれた山車1台を展示しております。</p> <p>ご提案いただいた、展示される山車以外の優れた山車の表彰についてであります。新庄まつりの担い手である若連の山車製作意欲の向上に資するものであると認識しております。</p> <p>今後、表彰の実施主体や選考方法などについて、新庄まつり関係団体の意向も確認しながら、他地域の事例も参考とし、研究してまいります。</p>
<p>佐藤悦子議員</p>	<p><b>【質問 1】</b> 地元農産物の給食への利用拡大を進めたいが、調理時間がかかるなどの理由から使えないとされることがある。調理を直営に戻し、地元産を生かせるようにすべきではないか。現状の中での改善として、地元産の利用拡大のために、給食用に加工所を設置するのはいかがか。</p> <p><b>【答弁】</b> 学校給食においては、現在も地産地消推進の観点から、できるだけ地元で育ったものを地元の小売店などから購入し使用しております。</p> <p>現時点で調理の直営化や給食用加工所の設置の考えはございませんが、今後とも地元産農産物の使用については可能な限り継続していきたいと考えております。</p> <p><b>【質問 2】</b> 有機農業への支援を強め、学校給食に週5日・有機米100%を目指す取り組みを進めてはどうか。</p> <p><b>【答弁】</b> 昨年度は市内生産者から、有機米を提供していただき、市内全ての学校において有機米給食の日を設けることができました。</p> <p>しかしながら、年々物価が上昇しており、一般的な作物より高価な有機農産物を購入することは困難な状況にあります。また、学校給食の食材については、大量かつ確実に納入される必要があることから、学校給食への有機米の使用は現時点では難しい状況であると考えております。</p>

議案第49号

令和6年度9月補正予算（第2号）に係る臨時代理の承認について

令和6年度9月新庄市一般会計（教育費）補正予算（第2号）の要求について、次のとおり提案した。

歳入 なし

歳出

（単位：千円）

款項目		補正前 の額	補正 要求額	計	補正要求額の内訳			
					国県支出金	地方債	その他	一般財源
10- 5-11	社会体育費	64,911	1,252	66,163				1,252
計		64,911	1,252	66,163	0	0	0	1,252

令和6年度9月補正予算（第2号） 教育総務課要求内容

歳入 なし

歳出 なし

令和6年度9月補正予算（第2号） 学校教育課要求内容

歳入 なし

歳出 なし

令和6年度9月補正予算（第2号） 社会教育課要求内容

歳入 なし

歳出

(単位：千円)

款項目		補正 要求額	内 訳	
10- 5-11	社会体育費	1,252	負担金 新庄市国際スポーツ交流実行 委員会負担金	1,252
計		1,252		